

令和2年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

業務の概要

業務名	国道102号橋梁補修（十和田橋）調査・設計業務委託		
受注者名	株式会社 キタコン		
業務箇所	青森県十和田市大字奥瀬地内	請負金額	22,011,000円
履行期間	令和元年7月19日～令和2年3月20日	成績評定点	84点
完成年月日	令和2年3月20日	推薦公所	上北地域県民局地域整備部
管理技術者	長内 寿	優良技術者表彰	総括調査員 榊 明彦
業務概要	測量業務 N=1式	主任調査員 鎌田 賢一	調査員 八木田 孝夫
	地質調査業務 N=1式		
	橋梁設計業務 N=1式		

推薦理由

本業務は、十和田市奥瀬地内において国道102号に架橋されている『十和田橋』の補修・補強に必要な測量・設計業務を実施したものである。十和田橋は交差点部に架橋された橋梁で、上部工の平面形状が全て異なるため複雑な挙動を示すことから、動的解析法により詳細な応答値を求め合理的な耐震補強設計を立案している。加えて既設落橋防止の耐力を照査し、維持管理に配慮した落橋防止システムの検討を行うなど全般的に高度な技術力が認められる内容であった。また、本橋は十和田八幡平国立公園の特別区域に架橋されているため、河川内の搬入路計画においては周辺環境や観光シーズンに配慮した施工工程の提案を行う必要があった。そのため、国立公園管理者(環境省)、河川管理者(青森県)との協議をスムーズに進めるため、発注者との綿密な打ち合わせ、技術提案を行い、いずれも初回協議で合意を得ている。成果品についても品質向上のため、設計計画・検証結果について他部門の専門家を交えた独自の社内審査を実施し、客観的な評価を経たうえで最終成果とするなど、品質確保に特筆すべき取り組みがあった。このことから、青森県県土整備部優良建設関連業務に推薦するものである。

写真・図面等

既設落防の耐力照査を実施

社内審査の状況

受賞コメント

このたびは、地域整備部長表彰の栄誉を賜り、誠にありがとうございます。ご指導を賜りました調査職員並びに関係職員の皆様にご心より感謝申し上げます。

当社は、半世紀にわたる歩みの中で、幾多の経験を積み重ね、『技術と品質』に磨きをかけてまいりました。これからも新たな時代のニーズに応えると共に、さらに技術の研鑽を積み重ね、地域社会に貢献できるよう尽力していく所存です。

今後も、皆様方の一層のご指導ご鞭撻を賜ります様、宜しくお願ひ致します。



代表取締役
佐藤 和昭



管理技術者
長内 寿

令和2年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

業務の概要

業務名	中宇樽部沢外火山砂防環境調査業務委託		
受注者名	いであ 株式会社		
業務箇所	十和田市大字奥瀬地内	請負金額	19,799,125円
履行期間	平成31年3月21日～令和2年3月25日	成績評定点	84点
完成年月日	令和2年3月24日	推薦公所	上北地域県民局地域整備部
管理技術者	菅野 宗武	優良技術者表彰	総括調査員 鹿内 修
業務概要	環境調査N=1式	主任調査員	小笠原 透
		調査員	金 俊之・浅利 崇仁

推薦理由

本業務は、動植物の環境調査結果を元に今後、十和田八幡平国立公園における火山砂防事業を進める上での行動指針とも言える環境保全措置を検討したものである。土石流・流木災害から人家や緊急輸送路などを保全する当地域での火山砂防事業の実施は、自然環境豊かな地域性に配慮して進める必要がある。防災事業と環境保全のトレードオフを低減して両立を図る保全措置は、砂防及び環境分野いずれも高度なレベルでの知識・経験を要する極めて困難な業務であったが、調査体制の充実を図って確実な動植物調査を行うとともに、有益な調査を追加提案・実施（現地状況を踏まえた樹洞利用、植物調査の高精度化）したことで、より実用的な環境保全措置が得られた。

これは「難易度が高い業務に対し優れた技術力を発揮したもの」に該当するものであり、高く評価できることから青森県県土整備部優良建設関連業務に推薦するものである。

写真・図面等

樹洞内部の利用調査



樹洞利用のモモンガを確認



無人撮影装置による樹洞調査



ムササビの確認



植物調査の実施



植生図に基づく希少植物の移植先(案)の提示

技術提案により実施した調査の結果

実用的な環境保全措置の提案

- ・ 希少植物の移植地点の提案
- ・ 施設設計・施工時の留意点を提案

受賞コメント

この度は、地域整備部長表彰を賜りまして、誠にありがとうございます。御指導頂きました上北地域整備部の皆様、関係各位に心から感謝申し上げます。

十和田八幡平国立公園という貴重な生態系が維持されている地域であったため、先行事例など数々の文献に学び、御担当の調査員様と協議を重ねながら業務に取り組みました。協議を通じて、調査員様と弊社が“ワンチーム”となり同じ目標に邁進できたことが、受賞に繋がったと考えております。また、これは、弊社の社系にある『常に技術の創造と学術の探究につとめ、もって社会に貢献すること』を实践できた場面でもあり、コンサルタントとして貴重な機会を頂けたことに感謝いたします。

今回の受賞を励みとし、更なる技術力・品質の向上に努め、青森県のインフラ整備の一助となれるよう努力して参ります。



東北支店長
小澤 宏二



管理技術者
菅野 宗武